ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-PB20

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10番19号 サンエイビル4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4番9号 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13番34号 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは

お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120 0120-464-007

全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／ 10:00～17:00 月曜～金曜（祝祭日及び 12:00～13:00 は除きます）
ホームページ　https://www.alinco.co.jp「電子事業部」「通信技術」をご覧ください。

PS1058
FNFF-NJ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
△	△記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
⃠	○記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告・注意

■使用環境・条件

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品どうし、または他のトランシーバーとともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型トランシーバーを運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
トランシーバーを使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

電波を使用している関係上、トランシーバーの通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。
そのため、機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場合、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

マイク部にシール類を貼らないでください。相手に音声が聞こえなくなります。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。サイズ違いのアンテナに交換することはできません。

防浸保護には条件があります。
水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。故障の原因となります。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、また故意にぬらさないようにご注意ください。故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

イヤホン / マイクロホン端子にはオプションのイヤホン / マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

■充電器の取り扱いについて

充電器の AC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器の AC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器の AC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

充電器の AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ず AC アダプターを持って抜いてください。

充電器の AC アダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■オプションのLi-Ionバッテリーパック（電池）について

以下のような電池は新品に交換してください。発火、やけどの危険があります。

- ・ふくれ、へこみ、傷、シミがある。
- ・充電中異常に熱くなる、充電できない。
- ・新品の時より使える時間が短くなった。
- ・固い場所に落とす、投げるなど乱暴に扱った。

季節、気温に関わらず、電池を以下の場所に置かないでください。発火、やけどの危険があります。

- ・直射日光が当たる場所
- ・暖房、調理器具など熱源の近く

■異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
■落としたり、ケースを破損したりしたとき
■内部に水や異物が入ったとき
■ AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■保守・点検

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。
洗浄剤などを直接トランシーバーに吹き付けないでください。機器内部に浸透し故障の原因となります。

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

本体や充電器のケースは、開けないでください。
けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。
製造番号ラベルをはがさないでください。
製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

使用前のご注意

■ご使用環境

高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■分解しないで

特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所

本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺、病院内など）

日本国内でのみ使用してください。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離

通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。

- ・海上、山頂など条件のよい所　：2km またはそれ以上
- ・河原など障害物のない平地　　：500m ～ 1km 程度
- ・見通しのよい道、郊外の住宅地：500m 程度
- ・市街地のような障害物の多い所：200m 程度

注意 ローパワー時は、半分以下になります。

■外郭保護性能について

防水キャップをはめた状態で IP54 相当の耐塵防水になります。ただし、常に水しぶきや海水、油脂、薬品がかかる環境や、鉄粉が飛散するような環境での使用で発生する不具合については保証しておりません。また、すべての製品を出荷前に検査してその性能を保証するものではない「相当品」ですので、水没、流水での洗浄は絶対におやめください。濡れたときは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。防水素材は時間が経つと劣化しますので、弊社では外郭保護性能についても製品と同じ保証期間とさせていただいております。

■バッテリーセーブについて

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないとこの機能が動作します。信号を受信するか、キー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが、異常ではありません。

■障害物

本機に採用されている電波の性質上、屋外では大きな建物や地形による影響を受けたり、屋内では壁や天井などを間にはさむと通話距離は短くなります。

■グループトーク機能の互換性について

グループトーク機能を使用する際、特定の番号において異なる機種との間で通話が途切れる場合があります。このようなときは違う番号を選んで通話をお試しください。これはグループトーク機能に使われるトーン信号の精度が、機種によってばらつくことによる相性のためであり故障ではありません。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3 分制限（3 分以上は連続で送信できません）……………

10 秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計 3 分になると自動的に送信は停止します。

注意 3 分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約 2 秒たたないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）………………

一定の強さ以上の信号を受信しているときは [PTT] キーを押しても送信できません。受信中に [PTT] キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープを OFF にしているとき、アラーム音は鳴りません。

付属品と取り付け方

付属品をご確認ください

- □ベルトクリップ
- □ハンドストラップ
- □取扱説明書（本書）
- □保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

ベルトクリップの取り付け……………………………………

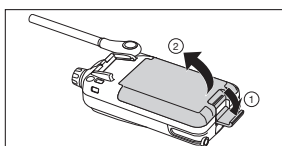
ベルトクリップを本機の背面にスライドさせてはめ込みます。
取り外すときはロックレバーを押さえながら下方向へスライドします。

注意 ベルトクリップを破損・紛失した場合はご購入が可能です。
販売店へご用命ください。

ハンドストラップの取り付け…………………………………

本機背面上部にあるストラップ用の通し穴に取り付けます。

電池の入れ方

①カバーを開ける
　ロックを外してカバーを開けます。
②電池を入れる
　＋／－の表示に従って単三形乾電池３本をセットします。
③カバーを閉める
　カバーを閉めロックをかけます。

注意 種類が異なる電池や、新品と古い電池を混ぜて使用しないでください。
市販の単三形充電池はご使用になれません。
しばらく使用しないときは電池をトランシーバーから取り外してください。
電池を入れたままで液漏れすると修理できなくなります。
電池カバーやダイヤルツマミは補修部品としてお求めいただけます。
販売店へご用命ください。

充電池および充電器（オプション）

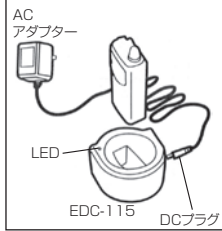
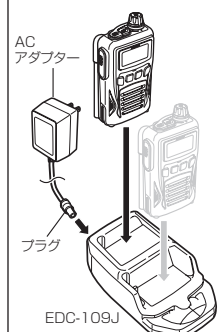
充電池、充電器および関連するアクセサリーは下記のとおりです。

ニッケル水素バッテリー	EBP-25NH（3.6V ／ 800mAh）	リチウムイオンバッテリー	EBP-70（3.7V ／ 1000mAh）
ツイン充電器セット	EDC-109J（充電約 2 時間）	ツイン充電器セット	EDC-158A（充電約 2.5 時間）
シングル充電器セット	EDC-115（充電約 12 時間）	ツイン連結スタンド	EDC-158R（充電約 2.5 時間）
		連結充電用 AC アダプター	EDC-162
		シングル充電器セット	EDC-184A（充電約 2.5 時間）

業務用には継ぎ足し充電ができる EBP-70 をお使いください。

注意 充電池は出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。
弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。
充電中はトランシーバーの電源を切ってください。

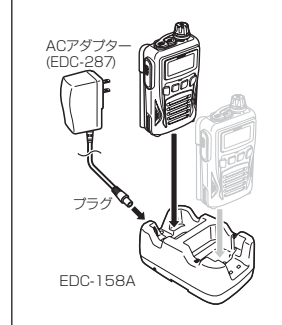
ニッケル水素バッテリー EBP-25NH の充電（EDC-109J/EDC-115）……………

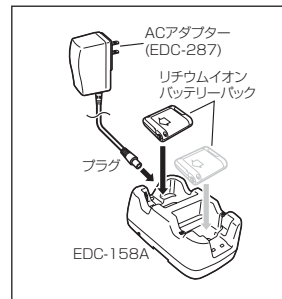
①ニッケル水素バッテリーEBP-25NHを極性に注意してトランシーバーに装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドのポケットに挿入します。
⑤充電が開始されEDC-109Jでは赤色ランプが点滅し、EDC-115では赤色ランプが点灯します。
⑥EDC-109Jでは充電が完了すると緑色ランプが点灯します。
⑦EDC-115では約12時間で充電が完了しますので、時間が経過したらトランシーバーを充電スタンドから抜いてください。EDC-115の赤色ランプは通電を示すものであり、トランシーバーを挿入しているときは常に点灯しています。

注意 充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。

EDC-109J は保護回路が働いた場合、赤色ランプと緑色ランプが同時に点滅します。この場合バッテリーパックが正しく装着されていることを確認し、異常が見当たらないときは電池の寿命が考えられるため新品に交換してください。

注意 ニッケル水素バッテリーを保存するときは満充電した状態で高温多湿を避けトランシーバーから取り外して保存してください。
また 3 ヶ月に 1 度は電池を完全に使い切って満充電するメンテナンスをおこなってください。
これを怠ると電池が劣化して充電できなくなることがあります。

リチウムイオンバッテリー EBP-70 の充電（EDC-158A/EDC-184A）……………

①リチウムイオンバッテリーEBP-70を極性に注意してトランシーバーに装着します。
②ACアダプターのプラグを充電スタンドのジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電スタンドの、前後いずれかのポケットに挿入します。
　EDC-158Aは2台同時に充電することもできます。
⑤充電が開始され赤色ランプが点灯します。
⑥充電が完了すると赤色ランプが消灯します。EDC-184Aでは緑色ランプが点灯します。
⑦バッテリーパック単品で充電することもできます。
　バッテリーパックの極性に注意して充電スタンドに装着してください。

注意 充電ランプの動作について
バッテリーが満充電に近いと充電開始を知らせるランプが点灯しないことがあります。
このようなときは、しばらくトランシーバーを使って減電池表示が出たら充電してください。
これは過充電を防止する回路が働いているためであり、故障や異常ではありません。

充電器の前方のポケットではランプが点灯するが後方のポケットでは点灯しない、あるいはその逆の動作をする場合も、しばらくトランシーバーを使って電池を使い切ってから充電してください。
充電開始を検知する回路の個体差により、このような動作をすることがありますが異常ではありません。

リチウムイオンバッテリーは定格電圧（50% 充電程度）での保存が推奨されています。
特に電池が減ったまま保存すると数ヶ月で充電できなくなることがありますので、定期的に通電して補充電するメンテナンスをおこなってください。

充電器にトランシーバーを挿入してもうまく充電しないときは、充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。それでも充電できないときは異常です。サービスセンターにご相談ください。

警告 Li-Ionバッテリーは正しく取り扱わないと、破裂、火災、やけどの原因となります。
「安全上の注意」をよくお読みください。
正しく使っても劣化しますので3年を目安、長くても5年以内に新品に交換してください。長く使うほど事故のリスクが高くなります。

連結スタンド EDC-158R による充電

EDC-158Rを使用して連結充電する場合、必ず大容量のACアダプターEDC-162が必要です。

①ACアダプターがEDC-162であることを確認します。
②スタンドのコネクタどうしを接続します。スタンドは最大4台まで連結できます。
③付属の接続ステーをスタンド底面の溝に合わせてスライドさせます。
　確実にスタンドどうしが固定されたことを確認してください。
④ACアダプターのコネクタを、端のスタンドのコネクタに接続します。
⑤ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
⑥トランシーバーまたはバッテリーパック単品を充電スタンドのポケットに挿入します。
　充電が開始され赤色ランプが点灯します。
　最大8台まで同時に充電することができます。
⑦充電が完了すると赤色ランプが消灯します。

各部の名前とはたらき

前面部

ディスプレイ

セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

①[FUNC]キーを押しながら[SET]キーを押します。
→セットモードに入り項目が表示されます。
②[SET]キーを押すごとに項目が切り替わります。
　[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
③▽または△キーを押して設定値を変更します。
④[PTT]キーを押して設定を完了します。

メモ　セットモードについての詳しい内容は、弊社ホームページをご覧ください。
https://www.alinco.co.jp/「電子事業部」「通信技術」

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt-AL	電池選択（アルカリ /Li-ion/Ni-MH）	AL/Li/ni	AL
CP-oF	コンパンダー（雑音低減）	OFF/ON	OFF
vo-oF	VOX（音声検知送信）	OFF/Lo/Hi	OFF
SC-oF	秘話	OFF/ON	OFF
bP-Lo	ビープ音量（操作音）	OFF/Lo/Hi	Lo
EP-on	エンドピー（送信終了音）	OFF/ON	ON
bL-oF	ベル（呼び出しお知らせ）	OFF/ON	OFF
LP-5	ランプ	OFF/5 秒 /ON	5 秒
PH-oF	PTT ホールド（送信保持）	OFF/ON	OFF
Pt-on	PTT オンオフ（送信禁止）	OFF/ON	ON
Er-on	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Cb-oF	コールバック	OFF/ON	OFF
Po-Hi	送信出力（Hi：10mW / Lo：1mW）	Lo/Hi	Hi
EG-oF	緊急通報機能（「SET/E」長押しで通報）	OFF/ON	OFF

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。充電池を充電してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	3 分の通信制限時間を超過している。	PTT キーを離し 2 秒たってから送信してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	充電池が専用品でない。	専用充電池 EBP-25NH、EBP-70 を使用してください。
ディスプレイに「Er-nG」と表示される。	イヤホンマイクやイヤホンが断線している。	イヤホンマイクやイヤホンを交換してください。
	イヤホンマイクやイヤホンが正しく接続されていない。	イヤホン/マイク端子に異常がないか確認してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗していると誤動作することがあります。新しい電池に交換してください。

製造中止製品に対する保守年限に関して

**生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなる場合もあり、修理ができないこともありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後 5 年です。**

オプション一覧

EBP-25NH　ニッケル水素バッテリーパック
EBP-70　リチウムイオンバッテリーパック
EDC-109J　ツイン充電器セット（EBP-25NH 用）
EDC-115　シングル充電器セット（EBP-25NH 用）
EDC-158A　ツイン充電器セット（EBP-70 用）
EDC-158R　ツイン連結スタンド（EBP-70 用）
EDC-162　連結充電用 AC アダプター
EDC-184A　シングル充電器セット（EBP-70 用）
EME-6　ストレートコードイヤホン（オープンエアー型）
EME-26　カールコードイヤホン（オープンエアー型）
EME-50　ストレートコードイヤホン（耳かけ型）
EME-21A　イヤホンマイク（カナル型）
EME-21AB イヤホンマイク黒（カナル型）
EME-29A　イヤホンマイク（耳かけ型）
EME-39A　咽喉イヤホンマイク
EME-522A イヤホンマイク（オープンエアー型）
EME-53A　ヘルメット用ヘッドセット
EME-57A　イヤホンマイク（カナル型/耳かけ）
EME-652MA イヤホンマイク（耳かけ型）
EME-652CA イヤホンマイク（オープンエアー型）
EME-762MA 小型イヤホンマイク（耳かけ型）
EME-762PA 小型イヤホンマイク（オープンエアー型）
EMS-59　スピーカーマイク（PTT ホールド、VOX 機能使用不可）

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

電源を入れる

電源／音量ツマミを時計方向に回します。

音量を調整する

電源／音量ツマミを時計方向に回すと音量が大きくなります。
▽キーと△キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ、音量の目安となります。
適切な音量に調整してください。

チャンネルを合わせる

▽または△キーを押して交互通話用チャンネルの L01 ～ 09、b01 ～ 11 を選択します。
通話したいトランシーバー全てを同じチャンネルに合わせます。
キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。

受信する

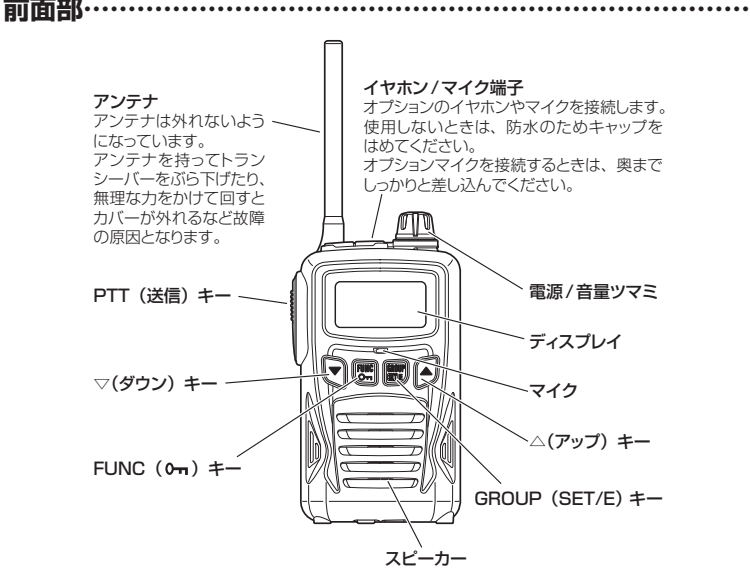
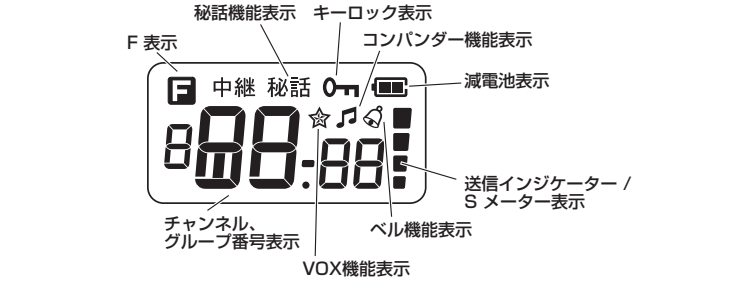
信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
ディスプレイの S メーターが信号の強さに応じて点灯します。

メモ　本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT] キーを押します。
→ [PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。マイクと口元は約 5cm 離してください。
　一定の強さ以上の信号を受信しているときは警告音「プププ」が鳴り送信できません。
　[PTT] キーを離すと受信待ち受け状態に戻ります。

コールトーン機能

送信中に▽または△キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。
▽と△キーでは音色が異なります。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

ノイズ音や混信を低減する効果があります。

[GROUP] キーを押す

→グループ番号が点灯します。

グループ番号を合わせる

[FUNC] キーを押しながら▽または△キーを押して自分のグループのトランシーバーを全て同じグループ番号に合わせます。

グループ番号は 01 ～ 50 を選択できます。

送信する

[PTT] キーを押しながらマイクに向かって話します。
→同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

キーロック

キーロックしておくと誤操作を防止できます。

簡易キーロック（Loc1）

[FUNC] キーを約 2 秒押します。
→「Loc1」が点滅したあと「O━」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

通常キーロック（Loc2）

［FUNC］キーと［GROUP］キーを同時に約 2 秒押します。
→「Loc2」が点滅したあと「O━」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

減電池表示

電池の残容量はディスプレイに 4 段階で表示されます。

「電源が入らない」「ON ／ OFF を繰り返す」「ディスプレイ表示が消える」「ハウリング」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられます。
新しい電池と交換してください。

しばらくご使用にならないときは、必ず電池を取り外してください。

メモ　「電池選択（セットモード）設定が適正でないと正しいタイミングで電池交換時期を表示しません。

リセット

設定状態や操作がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC] キーを押しながら電源を入れます。
→ディスプレイ全点灯中に [FUNC] キーを離します。
→工場出荷状態の L01 チャンネルになります。

その他の機能

**本書には記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
https://www.alinco.co.jp「電子事業部」「通信技術」
内容をよく理解してからこれらの機能をお使いください。**

デュアルオペレーションモード

メイン／サブの 2 つのチャンネルを 1 秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1 台のトランシーバーで 2 台のはたらきをします。

メモ　誤ってこれらのモードに切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すと正常な状態に回復することがあります。

チャンネル表示

L01	422.2000MHz
L02	422.2125MHz
L03	422.2250MHz
L04	422.2375MHz
L05	422.2500MHz
L06	422.2625MHz
L07	422.2750MHz
L08	422.2875MHz
L09	422.3000MHz

b01	422.0500MHz
b02	422.0625MHz
b03	422.0750MHz
b04	422.0875MHz
b05	422.1000MHz
b06	422.1125MHz
b07	422.1250MHz
b08	422.1375MHz
b09	422.1500MHz
b10	422.1625MHz
b11	422.1750MHz

定　格

送受信周波数	422.0500MHz ～ 422.1750MHz ／ 422.2000MHz ～ 422.3000MHz
電波形式	F3E（FM）
送信出力	10mW ／ 1mW
受信感度	-14dBu（12dB　SINAD）
音声出力	400mW 以上（本体スピーカー）／ 80mW 以上（外部出力）
通信方式	単信
定格電圧	DC4.5V（単三形乾電池 3 本）
動作温度範囲	-10 ～ +50℃
寸法	幅 54.8mm ×高さ 94mm ×厚さ 27.3mm（突起物除く） アンテナ上方向状態の全高さ 165.4mm
重量	約 174g (単三形乾電池 3 本含む／ベルトクリップ除く）

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。